

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
316	障害者住宅改造費事業	01	一般会計		
		03	民生費		
5	障がいのある人の自立した生活を支える	01	社会福祉費		
		04	障害福祉費		
		102	障害者保護費		
担当部課名	健康福祉部 高齢障害課		細目	05	障害者住宅改造助成事業
作成者氏名	榊 光裕	連絡先	22-9657		細々目

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	在宅の障がいのある人や障がいのある人等と同居する者	住宅改造経費を助成することにより、居住環境の改善を図ることにより、障がいのある人が地域で安心して暮らせる。			
事業内容	本伊賀市に住所を有する者に次に掲げる者に要した住宅改造にかかる経費を助成 年(所得税非課税世帯のみ、3分の2助成、補助限度額40万円、対象者1人につき1回のみ助成) 度(1)身体障害者手帳1級または2級を所持している方 事(2)身体障害者手帳3級または4級を所持し、常時車いすを使用している方 業(3)療育手帳A1・A2を所持している方 内容 ※三重県の補助基準に基づく助成。				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市高齢者及び障害者住宅改造補助事業実施要綱

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	1,119	2,200	2,200
補助金	1,119	2,200	2,200
その他			
合計(A+B)	1,839	2,920	2,920
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	559	1,100	1,100
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	1,280	1,820	1,820
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
利用者数	人	3	5	5			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
対象者適用比率 (助成利用者/助成必要者)	障害者住宅改造費助成必要者を分母とし、助成利用者を分子として対象者の適用比率を指標とした。	%	100 目標 ( 3 )	100	100
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成制度についてはケアマネージャーや障害者相談支援センター等を通じて周知啓発を行っている。</li> <li>・介護保険制度の改正等の動向も踏まえて、助成額や対象者の変更を行っている。</li> </ul>
---

評価	必要性	4	障害のある人が自宅で安心して生活するためには段差の解消等、自宅のバリアフリー化が必要であり、そのための改修経費は多額を要することから、今後も住宅改造費を助成することが必要性である。	総合評価 <b>A</b>
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		